**【テーマ２】　咲洲庁舎の耐震対策及び同庁舎の活用促進等**

|  |  |
| --- | --- |
| **めざす方向** | ◎平成27年12月に内閣府から示された知見を踏まえ、建築構造の専門家の意見を聴く「専門家ミーティング」を開催し、咲洲庁舎の長周期地震動対策をとりまとめるとともに、同庁舎の活用促進を図ります。これらと並行して府庁舎のあり方についても方向性を明らかにします。また、現在工事中の本館の耐震改修工事を着実に進めます。  （中長期の目標・指標）  ・咲洲庁舎の長周期地震動対策  ・咲洲庁舎の活用促進  ・府庁舎のあり方のとりまとめ |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **咲洲庁舎の長周期地震動対策の検討** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■咲洲庁舎の長周期地震動対策の検討**  ・平成27年12月に内閣府から示された知見を踏まえ、長周期地震動による咲洲庁舎への影響と必要な追加対策について、建築構造の専門家の意見を聴きつつ検討を進める。  （スケジュール）  28年5～８月頃：専門家ミーティング（3回程度）開催  28年８～９月頃：対策のとりまとめ | ◇活動指標（アウトプット）  ・咲洲庁舎の長周期地震動対策について、国の新たな知見を踏まえ、追加対策の内容をとりまとめる。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・咲洲庁舎の耐震安全性の向上  （数値目標）  ・国の新たな知見に基づき求められる耐震性能の確保  ：国交省新基準のクリア | | ○専門家ミーティングを開催（5・7・8月）  ・南海トラフ巨大地震の長周期地震動を推計し、咲洲庁舎への影響について建物構造解析を実施。  ・追加対策工法（ダンパー追加、減築、中間免震、トラス架橋、ＴＭＤ）の効果・コスト・施工上の課題等について検討。  ○同ミーティングの検討結果を踏まえ、各種工法の総合評価を行った結果、費用対効果に優れ、対策実施の確実性が高いダンパー追加案を採用し、戦略本部会議（9月2日）で方針決定。  ○ダンパー追加工事の実施設計についてＨ29当初予算化。 |
| **咲洲庁舎の活用促進** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■咲洲庁舎の活用促進**  ・咲洲庁舎の低利用状態の解消に向け、あらゆる手法の可能性について検討を行い、できることから同庁舎の活用促進に取り組む。（咲洲庁舎の稼働率64%:㉗末）  （スケジュール）  民間テナントの募集は昨年度に引き続き随時実施。  新たな活用手法の導入については、準備が整い次第実施。 | ◇活動指標（アウトプット）  ・咲洲庁舎の民間テナント募集等の実施  ・不動産斡旋事業者を活用する仕組みなど新たな活用手法の導入を図る。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・咲洲庁舎の活用促進  （数値目標）  ・咲洲庁舎の稼働率の向上　【概ね7割】 | | ○戦略本部会議（9月2日）で活用促進の基本戦略を決定。  ○オフィスフロアへのテナント入居促進のため、大阪市と共に、用途制限の緩和に向けた取組みを進めている。  ・29年３月29日、市都計審が地区計画変更答申。  ○公募に先立ち、事業者ニーズを把握するため、関心表明募集を実施。（9月）  ・表明件数：1件　・利用形態：ホテル  ・希望フロア：7～17階全体  ○咲洲庁舎の稼働率　【約68％】  8月から、オフィスフロア（12～14階）に新テナント入居。（29年6月までの短期貸付） |
| **府庁舎のあり方の検討** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■府庁舎のあり方の検討**  ・咲洲庁舎の長周期地震動対策の検討と並行して、同庁舎を含む府庁舎全体のあり方について検討を進める。  （スケジュール）  28年８～9月頃：方向性のとりまとめ | ◇活動指標（アウトプット）  ・咲洲庁舎を含む将来の府庁舎全体のあり方をとりまとめる。  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・咲洲庁舎を含む府庁舎全体のあり方について方向性を示す。 | | ○戦略本部会議（9月2日）で方針を決定。  ・大手前庁舎の今年度中の耐震補強工事完了。  ・咲洲庁舎の安全性確保（長周期地震動対策）と稼働率向上（空きスペース対策）に最優先で取り組む。  ・中長期的に、大手前・咲洲の部局配置について、課題の点検を行っていく。 |
| **本館の耐震改修工事（平成28年度まで）の着実な実施** | | | | | | |
|  | **＜今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）＞** | **▷** | **＜何をどのような状態にするか（目標）＞** | | **▶** | **＜進捗状況（H29.３月末時点）＞** |
|  | **■本館の耐震改修工事の着実な実施**  ・庁舎の安全性を高めるため、本館の耐震改修工事を着実に進め、計画通り平成28年度の完了を目指す。  （スケジュール）  28年度：工事完了 | ◇活動指標（アウトプット）  ・本館の耐震改修工事の着実な進捗  ◇成果指標（アウトカム）  （定性的な目標）  ・本館の耐震改修工事の完了 | | ○計画どおり完了。  ○工事に伴う28年度の執務室移転等も実施完了。  【進捗率１００％】 |
| **【部局長コメント（テーマ２総評）】**  自己評価 | | | | | | |
| **＜取組状況の点検＞** | | | | **＜今後の取組みの方向性＞** | | |
| ■咲洲庁舎の長周期地震動対策の検討  当初の目標を達成することができました。  ■咲洲庁舎の活用促進  当初の目標を達成することができました。  ■府庁舎のあり方の検討  当初の目標を達成することができました。  ■本館の耐震改修工事（平成28年度まで）の着実な実施  当初の目標を達成することができました。 | | | | ■咲洲庁舎のダンパー追加工事の実施設計  30年度からの工事着手に向け、実施設計を着実に進めます。  ■咲洲庁舎の活用促進  用途制限に関する大阪市の条例改正後、夏頃を目途に、低層階（7～17階）の入居事業者公募を実施します。  また、さらなる活用促進のため、上層階の入居事業者公募に向けて準備を進めます。  ■本館（西館）の撤去工事に着手  8月から設備の先行撤去、11月から建物解体を開始し、30年度中の本館（西館）解体撤去工事完了をめざします。 | | |